

67 沼島

ランク: B

生態系区分
島

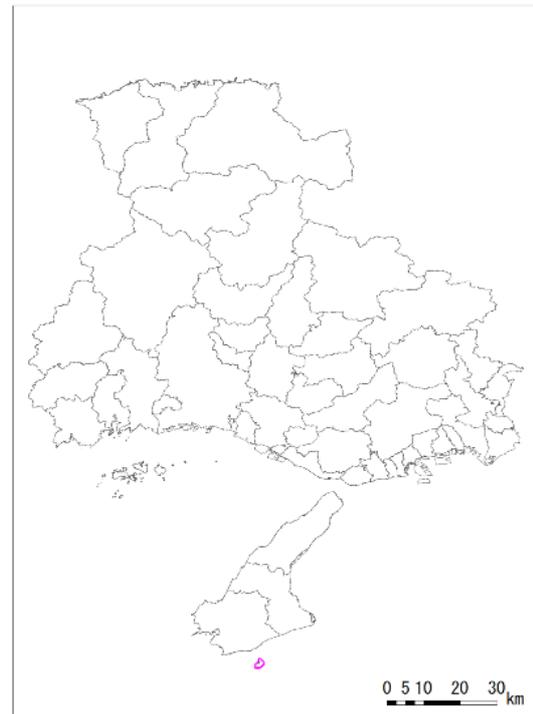
区分レベル
大

市町名
南あわじ市

場所
-

選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性



保全制度
国立公園

概要

南あわじ市土生の沖合い約3kmにある面積2.6km²の小島で、淡路島との間に中央構造線が走っており、県域では唯一外帯に属する地域となっている。植生は、全島がウバメガシ林とアカマツ林で覆われている。ほぼ全島をめぐって海食崖が形成されており、ウバメガシの自然林が成立している。紀伊水道に直接面しているために、県下では他で見られない南方系あるいは外洋性の海産生物が分布している。陸域でも、県域では生息する地域が限られている南方系の生物が多数生育・生息しており、地域的に特徴がある。

八幡神社にはシイ自然林が成立し、昆虫類の希少種であるクチキコオロギやキョウトアオハナムグリが多産する。この他、イソカネタタキ、アシジマカネタタキ、マメクワガタなどの昆虫類の希少種が多数生息する。